医薬品と機能性食品の“橋渡し研究”の推進

薬学研究院（薬食研究推進センター） 山田 靜雄

●連 絡 先　　TEL：054-264-5625　FAX：054-264-5626

キーワード　創薬，機能性食品，受容体，薬物動態，薬効，副作用の解析，臨床研究，排尿障害，中枢性疾患

（1）研究の目的

健康科学の発展及び健康長寿社会の実現に寄与することを目的とし、医薬品の適正使用や事業化を指向した機能性食品・素材に関する学術的な基礎研究の推進及び臨床研究への支援とともに、薬食に関する情報提供並びに専門職及び研究者の養成に関する支援を行う。

（2）研究の概要

1）基礎研究の推進：医薬品と機能性食品の開発やそれらの適正使用を支援するための解析等を行う。

2）臨床研究の支援：医療機関と連携し、①医薬品の有効かつ副作用を低減した使用法、②安全かつ有効な機能性食品の開発、③薬食併用によるシナジー効果や安全な使用法などに関わるトランスレーショナルリサーチを支援する。

3）情報提供：地域の医療専門職（医師、薬剤師、看護師、管理栄養士等）や一般消費者に対し、薬食に関する信頼性の高い情報（効果、有害作用、相互作用等）提供を行う。また市民講演会や学術学会の開催を支援する。

4）人材養成：センターでの実地研修により、臨床試験コーディネーターなどの薬食に精通した実践能力のある医療専門職や研究者の養成を支援する。

（3）臨床研究の概要　（右図参照）

（4）産学連携について

・対象とする業種または製品分野：製薬企業、食品関連企業など

・企業との共同研究実績：アステラス製薬㈱、大鵬薬品工業㈱、ファイザー㈱、小野薬品工業㈱、キョーリン製薬㈱、キューサイ㈱、タカラバイオ㈱、カルピス㈱、沖縄リサーチセンター、㈱不二工芸製作所など

薬食研究推進センター
http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/CPFR/

アピールポイント　基礎から臨床まで一貫支援、作用メカニズムの解析、医療機関と独立したデータ解析などにより信頼性の高いエビデンスを提供する